

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 9月

1 東京都中央卸売市場(平成29年1~8月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は128.9万tで、前年比2%増、金額は3,711億円の前年比1%減となった。
- ② 茨城県産の入荷量は15万tで、前年比1%増、金額は387億円の前年比2%減となった。
(金額の内訳は、野菜317億円、果実70億円。前年同期比で野菜3%減、果実増減なし、平年同期比で野菜9%増、果実8%増)
→金額が【増加】した品目(前年対比)：はくさい(158%)、こまつな(109%)、幸水(109%)、こだますいか(109%)
→金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(76%)、きゅうり(82%)、れんこん(89%)
- ③ 茨城県の1~8月計の青果物入荷量は平年比104%(シェア11.7%)、取扱金額は同109%(シェア10.4%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~8月計)			
	1~8月計	年間計	年間比	1~8月計	年間計	年間比	千葉	北海道	青森	
数量	H29	1,289,886		150,683	←シェア(11.7%)		11.8%	8.1%	5.5%	
	H28	1,263,211	1,956,079	64.6	149,037	229,650	64.9	12.7%	8.1%	5.6%
	(前年比)	102			101	シェア(11.8%)				
	平年値※	1,292,522	2,013,667	64.2	145,101	226,294	64.1			
	(平年比)	100			104	シェア(11.2%)				
金額	H29	371,141		38,729	←シェア(10.4%)		8.4%	4.6%	5.6%	
	H28	374,026	586,489	63.8	39,590	61,743	64.1	8.5%	4.4%	6.0%
	(前年比)	99			98	シェア(10.6%)				
	平年値※	357,130	513,609	69.5	35,671	53,617	66.5			
	(平年比)	104			109	シェア(10.0%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成24~28年の5ヵ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成28年実績
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(10.5%)、数量シェア(11.7%)
千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.5%)
北海道：金額シェア(6.4%)、数量シェア(11.2%)

2 東京都中央卸売市場(平成29年8月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約7千トン(95%)、単価は339円(123%)、金額は約26億円(117%)
果実類の入荷量は約2千トン(93%)、単価は384円(111%)、金額は約9.2億円(103%)

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	ねぎ	1,223	92	80	93	316	112	123	122	387,051	103	100
	れんこん	461	103	95	97	584	99	115	113	269,351	101	110
	こまつな	489	107	151	96	380	229	171	157	185,951	244	257
	みず菜	442	83	88	83	399	164	113	111	176,221	137	99
	野菜類計	7,753	95	97	99	339	123	118	105	2,629,307	117	115
果実	日本なし類	2,044	95	94	88	384	111	118	112	785,751	105	112
	果実類計	2,402	93	94	98	384	111	118	109	922,650	103	112

(野菜)

・ねぎ 茨城県産ねぎは、夏ネギの収穫時期終盤に入り、7月までの高温乾燥による肥大不足が解消しないまま、入荷量は前年比92%、平年比80%と少なかった。市場全体でも、8月の曇雨天、低温の影響により東北地域を中心に生育遅れや収穫作業の遅延から、平年比93%と少なかった。単価は7月まで軟調気味であったのが、8月に入り上げ基調となり、特に旧盆明け一時高騰したことなどから、茨城県産は前年比112%、平年比123%と高く、金額は前年比103%、平年比100%であった。

・れんこん 茨城県産れんこんは、地上部の茎葉の生育が回復し、塊茎肥大が順調であることから、入荷量は台風の影響が顕著であった前年同月を上回り、前年比103%、平年比95%、市場全体では平年比97%であった。入荷量が前年と比べ潤沢に出回り始めたものの、単価は前年比99%、平年比115%と高く、金額は前年比101%、平年比110%であった。

・こまつな 茨城県産こまつなは、8月の曇雨天続きで軟弱徒長気味ではあったものの、栽培面積拡大により、入荷量は前年比107%、平年比151%と多かった。市場全体では群馬(前年比78%)、埼玉(同78%)等の他産地が少なく、平年比96%と少なかった。市場全体では入荷減による単価高の相場となり、茨城県産は前年比229%、平年比171%と高く、金額は前年比244%、平年比257%であった。

(果実類)

・日本なし類 8月の主要品種「幸水」は、7月までの高温乾燥による小玉傾向から、入荷量は前年比95%、平年比94%、市場全体では、千葉県、栃木県等の関東地域の産地を中心に出荷が遅れたこと等から平年比88%と少なかった。盆前後が品薄だったことから、盆を過ぎても単価は堅調に推移し、茨城県産は前年比111%、平年比118%、金額は前年比105%、平年比112%であった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績及び東京青果物情報センター速報値を基に算出